鳴見台小学校区コミュニティ協議会とは

　鳴見台小学校区で活動する自治会をはじめとしたさまざまな団体や住民の皆さん同士が話し合い、チームとなって、地域にある様々な課題を解決するのが「鳴見台小学校区コミュニティ協議会」です。
　まちづくり計画には、すぐできることもあれば、時間がかかることや自分たちだけでは難しいことも含まれています。
　それでも、できることから少しずつ、できる範囲で、住民の皆さんの想いをカタチにしたまちづくり計画を実行できるよう、鳴見台小学校区コミュニティ協議会で活動をしていきます。

▶ 話し合いの場の様子（まちづくり計画ができるまで）

第1回 **まちの現状について自由に話し合う+地区の将来像を考える（R4.12.18）**
鳴見台小学校区の"いいところ"や"心配なところ"について自由に話し合い、校区全体の将来像を考えました。

▼

第2回 **分野ごとの将来像を考える+分野ごとの取り組みを考える（R5.3.12）**
「鳴見台小学校区のまちづくり計画（イメージ）」を見ながら、5つの分野に分かれて現状(課題)や分野ごとの将来像、自分たちにどんなことができるかを話し合いました。

▼

報告会 **完成したまちづくり計画をみんなで共有する（R5.8.4）**

これまでご協力いただいた団体のみなさま

三重地区連合自治会、鳴見町自治会、滑石トンネル西口自治会、日当自治会、鳴見西自治会、光風台第一自治会、光風台第２自治会、豊洋台第一自治会、豊洋台第二自治会、鳴見台光風会、あかつき会、鳴見台小学校区青少年育成協議会、鳴見台小学校区子どもを守るネットワーク、鳴見台小学校育友会、三重中学校育友会、鳴見台小学校、三重中学校、鳴見台学童保育おひさまクラブ、三重地区民生委員児童委員協議会、はばたき農園応援団、長崎市三重地区子育て支援センターてとて、三重地区防犯協会、長崎市三重・外海地域包括支援センター、三重地区防犯パトロール隊、長崎市社会福祉協議会三重支部、三重・外海地区保護司連絡会

鳴見台小学校区まちづくり計画

鳴見台小学校区のめざす将来像

住みたくなる
集いたくなる
楽しくなる
～つながる
はばたく
なるみだいすき～

▸ 発行元　鳴見台小学校区コミュニティ協議会　　▸ 発行日　令和5年8月

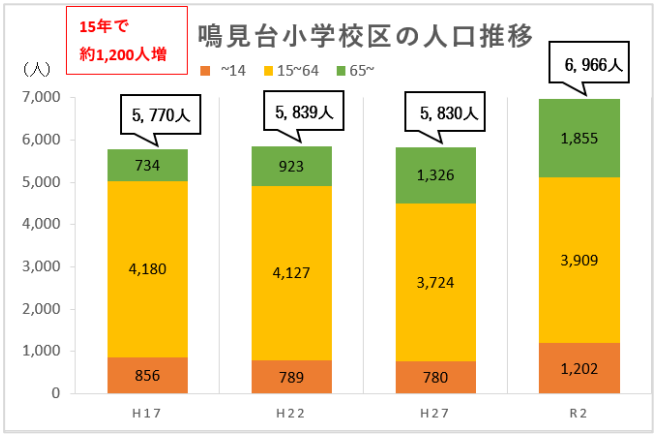
分野	テーマ	現状・課題	目指す将来像を実現するために必要な取り組み		分野別の目指す将来像
			既存の取組み	今後考えられる取り組み（一部抜粋）	
子育て	◆子育て支援 ◆交流 ◆はばたき農園	1　子育て支援や保護者同士の交流の場が少なく、また、未就学児同士の交流がないまま就学するため、子育てに不安を抱えている。 2　共働きの世帯が多く、行事に参加できない等、子育て世帯と地域との交流が少ない。 3　隣近所との関わり合いが薄れており、何かあった時に不安 4　「鳴見台小学校はばたき農園」（は児童の貴重な経験の場であるが、地域農業者からの指導）を何年続けていけるか不安を抱えている。	・講演会（子育てに関する） ・安心安全メールで配信 ・バスの乗り方教室 ・交通安全指導 ・自転車教室（学校で） ・「継続可能なはばたき農園」をテーマに総合学習（小5）	1　地域子育て憲章を制定し、住民で共有をする 2　子育てを身近な場所で相談できる環境や、未就学児の親子同士が交流できる環境をつくる ・子ども会の復活など、就学前に親子が交流できる機会が欲しい（世代間の交流で、子育て支援を） ・校区内の子ども施設（保育園・幼稚園・小中学校・学童）の連携強化！ 3　子育て世帯と地域との交流を強化する ・子どもを巻き込んだ自治会行事を検討する 4　はばたき農園応援団の参加者の拡大と指導者育成を行う ・はばたき農園30周年に、SNSの活用など卒業生も巻き込んだイベントを！ ・自分のやれる方法・範囲ではばたき農園をサポートするしくみを作り、子どもを地域で育てる活動も担っていく	**若い世代が安心して子育てができるよう、地域が連携して子どもの見守りや子育て世帯の交流など子育て支援に取り組むまち**
生活環境	◆ゴミ ◆交通 ◆買い物 ◆施設 ◆自然	1　山道や通学路などゴミのポイ捨てや不法投棄が多い。またゴミ出しマナー（時間・種類・選別）が良くない 2　バスの便が少なく、通学などの交通が不便（特に豊洋台） 3　（ダンクUがあるが）地域にお店が少なく、買い物が不便 4　公園の管理・整備が十分ではなく、集まって活動できる場所が小学校しかない 5　自然が豊かで環境がいい（おにぎり山など）ので、登山やイベントで活用できたらよい 6　イノシシやサルが出る	・通学路（国道）除草依頼している（PTA・学校・市） ・毎月第2日曜日に公園・道路をボランティア清掃（光風台第一自治会） ・各公園に管理担当者をおく（光風台第一自治会） ・第2自治会 毎月第1日曜日役員及び自治会員で草刈等の実施	1　ゴミを捨てない、捨てにくい環境（美しい景観）をつくる ・環境美化について地域で話し合う場を作るなど、ゴミを捨てにくいと思わせる教育 ・ゴミをなくす楽しい取り組み（通学路ゴミ拾いパトロールなど） 2　利便性の良い道路網とコミュニティバスの実現に向けて検討する 3　買い物支援の検討を行う ・個人店などのマップを作成するなど買い物支援を検討 4　気軽に集まれる場所として公園を整備する ・月に1回公園の清掃をしよう！たまには草刈りも ・トイレやドッグランを設置するなど、あまり使われていない公園を改修してほしい 5　イノシシ対策を行いながら自然を活かす ・イノシシ対策として休耕地を家庭菜園として貸し出し、人が集まることで排除する ・おにぎり山の登山道を子どもに歩いてもらうなど、地域の自然を知る機会を作る	**子どもから高齢者まで笑顔でつながり、快適で住みやすい、利便性のある自然豊かな美しいまち**
地域振興	◆交流 ◆行事 ◆自治会 ◆IT環境	1　子どもたちがよくあいさつをする 2　光風台と豊洋台の交流が少なく、世代間のギャップもある 3　行事が少なくなり、地域の交流、人と人とのつながりが薄くなった（若い人はSNSで満足している） 4　自治会加入のメリットを感じられず、会員の負担が大きく、加入者が減少している。役員は高齢化し、担い手が不足している。 5　IT関係の環境整備が遅れている 6　地区の地域活性につながる道路網がない	・ おまつり ・ 夏まつり ・ 鬼火たき ・ ふるさとウォーキング ・ペタンク ・小運動会 ・子どもラジオ体操 ・高齢者サロン　月1回	1　子どもを中心とした自治会合同イベントの開催により地域交流を促進する ・自治会、老人会、子ども会が連携して、校区内の各世代が集まるイベントを開催 ・子どもを巻き込んだ自治会活動により、若い世代に自治会・地域活動に参加してもらう ・祭りや自治会等の活動など、昔の行事を復活してほしい 2　自治会活動の役割・メリットについて周知啓発に努め、加入者を増やす ・自治会への入会メリット、入らないことのデメリットを宣伝する ・自治会未加入者への効果的な広報を実施 ・全世帯が自治会加入する事で「まちづくり」が盛り上がる！ 3　SNSやオンラインを活用した広報・イベントのためにIT環境を整備する ・自治会OBや若い人と連携してIT環境を活かした広報等につなげていく 4　地域の発展、活性化が期待できる道路網を検討する	**情報網や道路等インフラが整備され、地域の特色や強みを生かした、自治会や人々の活力があふれるまち**
防犯防災	◆避難 ◆消防団 ◆体制 ◆防犯 ◆交通安全	1　避難所について、遠い、場所が分かりにくい、ペットと避難できないなど課題がある 2　鳴見台の消防団がないなど、もしもの時の体制が整っているか心配 3　高齢者の独り暮らしが多くなり、災害発生時の避難などの対応が心配 4　夜間の犯罪が心配。防犯のための街灯が少ない。 5　団地内に信号や横断歩道が少なく、スピードを出して走行する車が多い	・一丁目 防災マップ作成 ・危険な場所がないかパトロールしている ・あやしい人がいないか、子どもが夜で歩いていないかのパトロール ・子どもを守るネットワークでのパトロール ・夜間巡視（自治会）夏と冬 ・梅雨前、危険箇所パトロール ・少年補導員パトロール	1　若い人から高齢者まで分かりやすい避難所を再検討する ・集会所を避難所にできないか ・自主防災組織の検討 2　コミュニケーションをとって、近所の心配な人をフォローする体制をつくる ・災害があった場合の連絡体制を考えておく ・防災マップの見直し・周知など、万が一の時の体制づくりが必要 ・小さなブロックで見守っていくしくみづくり 3　犯罪抑止・防止のための取り組みを実施する ・犯罪防止のため、各家庭の玄関灯を点ける ・防犯カメラをつけてほしい ・子ども110番の家の見直し 4　交通安全の取り組みを検討する ・通学路の横断歩道にストップマークを付ける ・横断歩道を増やしてほしい	**みんなが安全で安心して暮らせるよう、交通安全や防犯意識が高く、災害発生時は誰一人取り残さない防犯防災に取り組むまち**
地域福祉	◆つながり ◆高齢者	1　世代間交流が少なく、近所での交流も少なくなっている。 ・オンラインによる交流等のためのWi-Fi環境が不足している 2　認知症で独り暮らし、高齢者のみの世帯など心配な世帯があるが、支援が必要な人が自治会から脱退している。 ・交流をしたいと思っていてもできない人もいる 3　高齢世帯のみの地区もある。	・サロン （民生委員実施） ・あいさつ運動 ・オンライン教室 ・オンライン座談会 ・介護予防の為のスマホ教室	1　世代間の交流によるつながりづくり ・中学生を講師とした、高齢者向けスマホ教室の開催 ・昔遊びなど、高齢者と子どもたちの交流を図る 2　オンライン等を活用したつながりづくり ・高齢者向けオンライン井戸端会議ができる環境を作る ・VRを使ってコミュニケーションづくりを検討する 3　校区内の今後を話し合う場をつくる（各地区でも話し合いの場を！）	**高齢者や障害のある人も安心して暮らせるよう、地域福祉情報が共有され、地域で助け合い、支え合うまち**

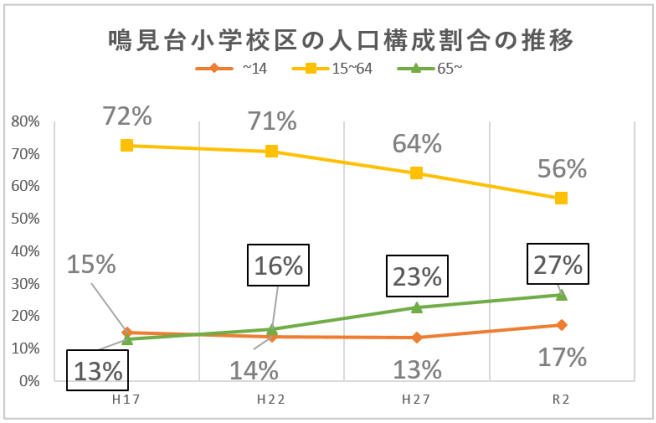
【鳴見台小学校区まちづくり計画　別冊】

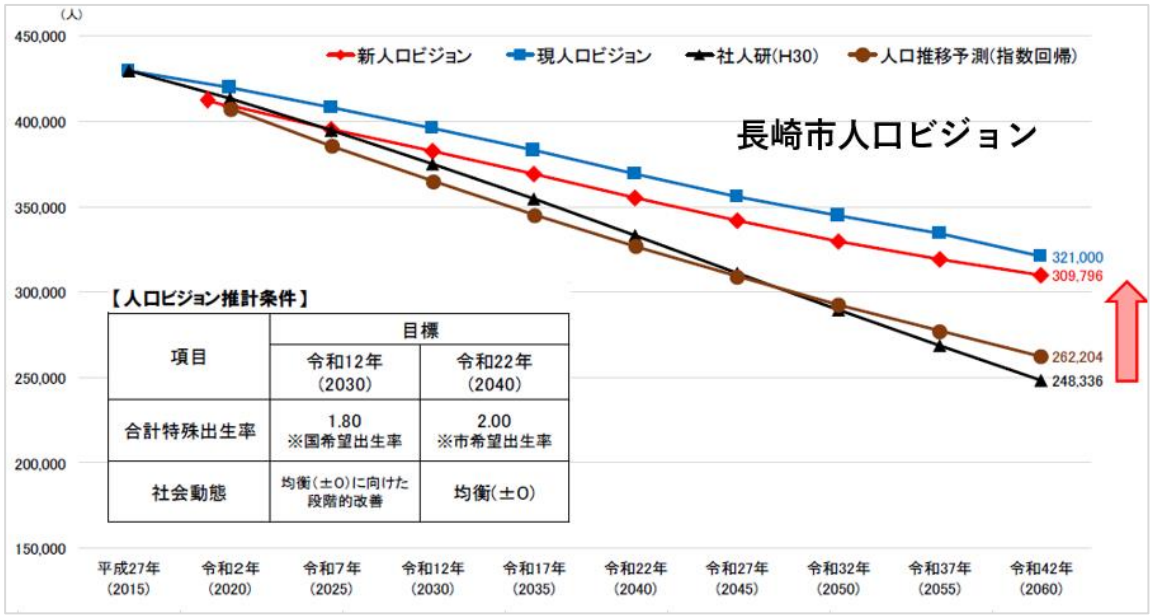
統計データから見た鳴見台小学校区の状況

統計データで見た鳴見台小学校区の状況を統計データで見ると、平成 27 年から令和 2 年にかけて人口は約 1,200 人増えています。ただし、人口構成割合の推移をみると、65 歳以上の高齢者の割合は、平成 1 7 年は 13％だったのが、令和 2 年には 27％と増加しており、徐々に高齢化が進んでいることが分かります。

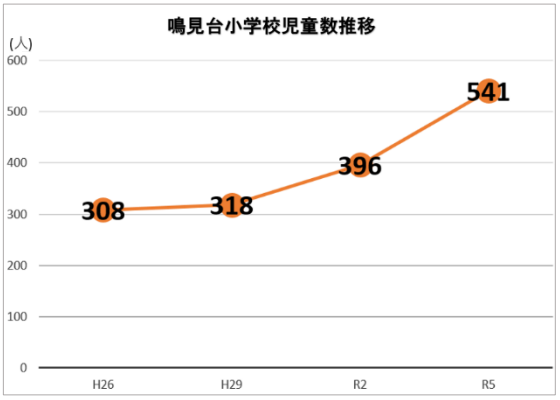
また、「長崎市人口ビジョン」のとおり、長崎市全体の人口は今後も減っていくことが想定されており、将来的には鳴見台小学校区もその影響を受けるものと予想されます。







【鳴見台小学校の児童数推移】



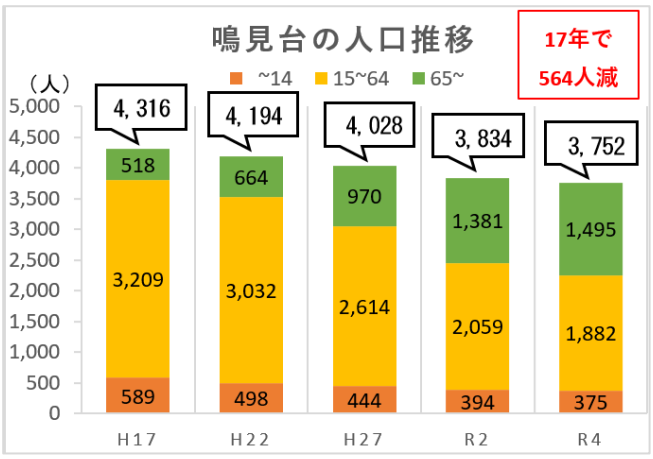
鳴見台小学校の児童数は、徐々に増え続けており、令和 5 年には 541 人と、長崎市内でも有数のマンモス校となっています。

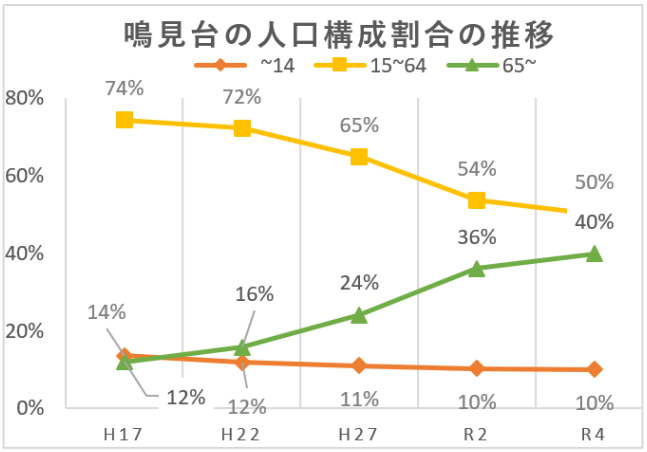
【詳細版】

鳴見台小学校区内の地域ごと「鳴見台（光風台）」「豊洋台」「鳴見町」の人口統計は次の通りです。

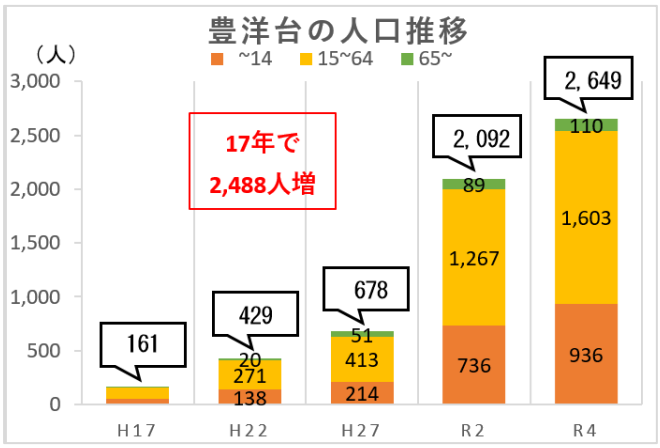
光風台と鳴見町の「人口推移」及び「人口構成割合」は、同じような傾向となっていますが、豊洋台については、17 年で人口が約 2,500 人増えており、14 歳以下の子どもの割合も 35％と高くなっています。

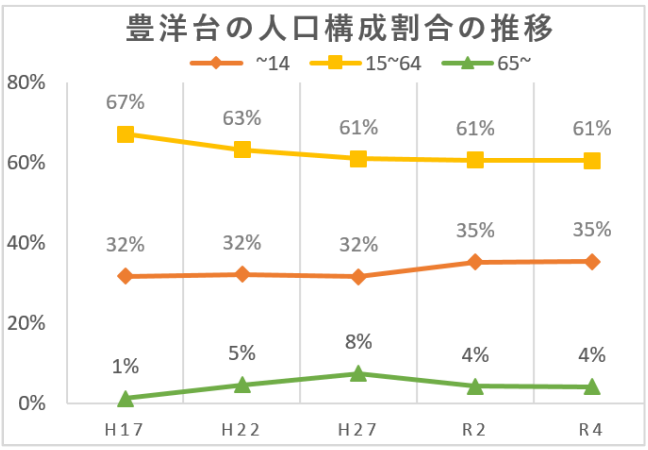
【鳴見台（光風台）】



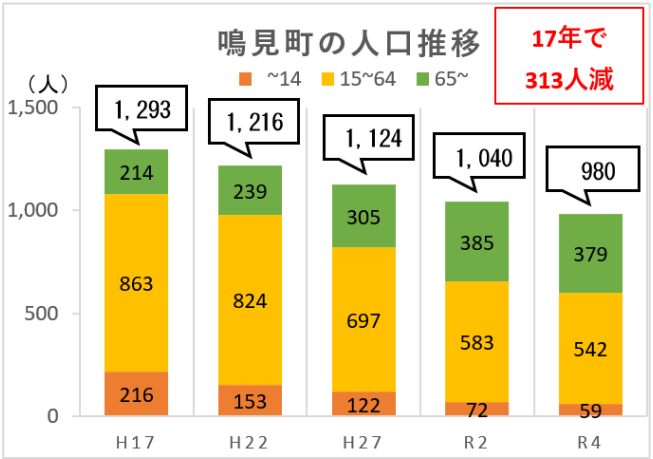


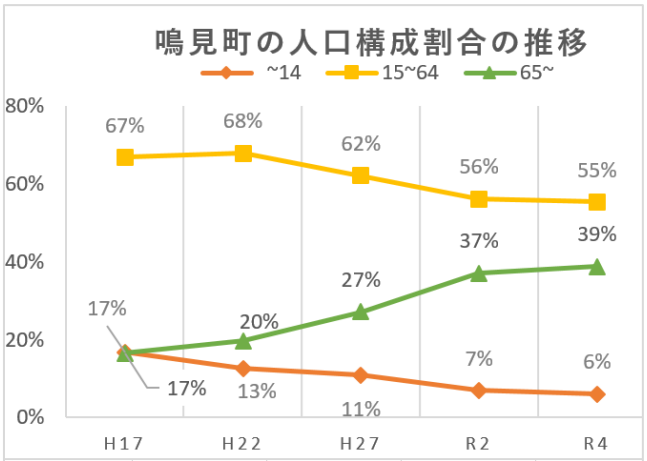
【豊洋台】





【鳴見町】





目指す将来像の検討

「分野別の目指す将来像」の検討の経緯

分野	将来像のキーワード	目指す将来像
子育て	・子育て世帯にとって安心して子育てができる ・地域で子どもを育てる仕組みがある ・貴重な体験の場となるはばたき農園を継続する	若い世代が安心して子育てができるよう、地域が連携して子どもの見守りや子育て世帯の交流など子育て支援に取り組むまち
生活環境	・子どもから高齢者まで笑顔で挨拶できるまち ・利便性があり快適で住みやすい ・ゴミのない自然豊かで美しい地域を目指す	子どもから高齢者まで笑顔でつながり、快適で住みやすい、利便性のある自然豊かな美しいまち
地域振興	・地域の特色や強みを生かしたまちづくり ・自治会等諸団体が活発で地域に活力がある ・情報網や道路網等インフラが整っている	情報網や道路網等インフラが整備され、地域の特色や強みを生かした、自治会や人々の活力があふれるまち
防犯防災	・みんなが安全で安心して暮らせる ・交通安全や防犯意識が高く体制が整っている ・災害発生時は誰一人取り残さない	みんなが安全で安心して暮らせるよう、交通安全や防犯意識が高く、災害発生時は誰一人取り残さない防犯防災に取り組むまち
地域福祉	・高齢者や障害のある人が安心して暮らせる ・地域における助け合い、支えあいの仕組みがある ・地域福祉情報が共有されている	高齢者や障害のある人も安心して暮らせるよう、地域福祉情報が共有され、地域で助け合い、支え合うまち

これまでのまちづくり計画の話し合いや協議の場で出された意見等を集約して、分野別の重要なキーワードとしてまとめた

鳴見台小学校区の将来像

自然豊かな美しい環境の中で、子どもから高齢者まで笑顔でつながり、みんなの「安全・安心」を大事にし、地域の連携で子育てに取り組む助け合いと活力のあるまち

目指す将来像を実現するために必要な取り組み 意見集

鳴見台小学校区の「話し合いの場」では、参加した皆さんから、たくさんのアイデアが出されました。

「まちづくり計画」に掲載できなかった意見も含めて、こちらで紹介させていただきます。

子育て分野

1. 交流

- 子ども会の復活など交流の場がほしい（世代間の交流があれば、子育て支援にもつながる）
- 育友会、育成協、学校以外の地域の人をまきこむ
- 就学前に親子が集う場所がほしい
- 鳴小の卒業生同士で相談ができる機会があれば・・・
- 学校との交流の機会がほしい

2. 連携

- 地域内の子ども施設（保・幼・小中・学童）の連携強化！
- 身近に歩いて行ける子育て支援の場が必要
- 子育てを相談できる場（サロン？行政センター？）がほしい

3. はばたき農園

- はばたき農園 30 周年のイベントとして、SNS の活用など卒業生もまきこんだイベントをしたい（花火、イルミなど）
- はばたき農園応援隊をつくり、若い世代の保護者に関わってもらう
- 農園ができるまでに関わってきた人と連携する

生活環境分野

1. ゴミ対策

- 環境美化について、地域で話し合う（考える）場を作る（ゴミを持ち帰る教育など）
- ゴミをなくす楽しい取組（通学路ゴミ拾いなど）
- ゴミ袋に氏名枠を作り氏名を記入させる！
- 犬の散歩時の「フンの回収袋の持参」を看板で周知する

2. 交通・買い物

- コミュニティバスの運行
- 買い物が不便→光風台・豊洋台から時津への道路の整備を行う
- 買い物支援の取組
- 個人店や教室などのマップを作る
- ネットスーパーの活用

3. 公園・施設

- 月に一回は公園の清掃をしよう！（各自治会）
- 公園にトイレを設置。子どもが気軽に集まれる場所とする。
- 豊洋台地区の公園が荒れているので、草刈りを行う。使っていない公園がもったいない
- 公園にドッグランをつくってほしい（豊洋台・光風台、どちらの公園にも）
- あまり子どもたちが使っていない公園を改修してほしい

4. 自然・鳥獣被害

- 花いっぱい運動を復活する
- 地域の自然を知る機会をつくる！
- おにぎり山の登山道の整備の一つとして、子ども達（中高生）に歩いてもらう
- 猪対策として、休耕地を趣味の人に貸し出し、家庭菜園化し、人が集まることで排除していく

地域振興分野

1. 子ども

- 子どもに関心を持つ！
- 子どもをほめる（叱るは･･･）
- 環境美化活動（子ども達も一緒に）
- 子ども（会）を媒体として活性化
- 高齢者とのつながりを深めるための自治会、老人会、子ども会などとの連携を深める。

2. イベント・行事

- 各世代あつまるイベント
- 食べ物、マルシェとか SNS 映えするイベント
- 若い世代を自治会・地域活動にとり込む
- 自治会行事（イベント）を復活させたい
- 自治会だけでなく、他の各団体も元気に

3. 自治会

- 光風台と豊洋台が連携して元気に（役割分担など）
- 鳴小校区の自治会の合同行事
- 子どもを巻き込んだ自治会行事
- 自治会を活性化して新しいイベントを！！
- 全世帯が自治会加入する事でまちづくりが盛りあがる！
- 自治会が入会メリット・入らないことのデメリットを宣伝する

4. その他

- 広報等のための IT 関係の整備（自治会 OB、若い人の活躍を期待！）
- 自治会未加入者への効果的な広報

防災防犯分野

1. 防災防犯対策

- 防犯カメラをつけてほしい
- 犯罪抑止のため玄関灯をつける
- 通学路の横断歩道にストップマークを付けてほしい
- 横断歩道を増やしてほしい
- 危険な場所を見つけて修繕や工事を行政にお願いする

2. 体制整備

- 万が一のときの体制作りが必要（防災マップ作成、子ども 110 番の家の見直し等）
- 災害があった場合の連絡体制を考えておく
- 小さなブロックで見守っていくしくみを作る
- 避難場所の再検討
- スマホデータ情報の利用促進の周知
- 災害マップの活用方法を考える
- 集会所を避難所にできないか

地域福祉分野

1. 高齢者

- 高齢者向オンライン井戸端会議ができる環境を作る
- 高齢者同士でスマホを教えるサークル活動を作る

2. つながり

- VR を使ってコミュニケーション作りを準備する
- 隣近所のつながりを作る
- 鳴見台小区の今後を話し合う場を作る（各地区でも話し合いの場を）

3. 空き家の有効活用

- 空き家の事前相談所を作る